

念おもいと自己じこ — 守正念しゅしょうねん 私わたくしに費つやさざらん — (二版)

自己じこへの念おもいが無い者なに

どうして皆みなへの念おもい有ある

慎つしみありて慈悲じひを知るし

絶対ぜったい他者いたを戴ただけば

自己じこは下したとなる理屈りくつ

下々しもじも平等びようどう智慧ちえは無なし

絶対ぜったい真理しんりに帰かえりなば

自他じたに隔へだて在あるは無なし

平等びようどう利益りやくに智慧ちえ証あかす

慎つしみ一元いちげん 我慢がまんは二元にげん

我執がしゆうの壁かべ出でる念おもい有あれ

皆みなの為ためなる自己じここそ念おもい

大事だいじを修おさめて大事だいじを証あかす

宮城県大崎市 瑞川寺住職 木村謙文

絶対ぜったいの和合わごう
聞思修もんししゆを起おこして証しょうする